



三井松島
各 位



2026年5月13日

会社名 三井松島ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉岡 泰士
(コード番号 1518 東証プライム 福証)
問合せ先 上席執行役員 経営企画部担当
阿部 美紀子
(TEL. 092-771-2171)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2030年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。詳細は添付資料をご参照ください。

記

1. 中期経営計画策定の背景と目指す姿

当社グループは、10年以上にわたり、製造業を中心とするニッチトップ企業のM&Aを推進し、祖業であった石炭事業に代わる安定的な事業ポートフォリオを構築してまいりました。

その後、2024年5月に公表した、2027年3月期までの3カ年の「経営戦略2024」では、積極的なM&A投資及び株主還元を掲げ、これらの施策を着実に実行した結果、目標とした当期純利益50億円以上の収益基盤の構築を1年前倒しで達成いたしました。

そこで今期より、新たに「中期経営計画2030」を策定し、以下の数値目標及び株主還元方針を定めました。

2. 数値目標

当期純利益100億円以上(2030年3月期)

3. 株主還元方針

「累進配当」を基本方針とし、利益成長を通じた1株当たり年間配当額の持続的な向上を目指してまいります。

また、配当性向については2030年3月期において40%程度を目安(1株当たり年間配当額100円以上を想定)といたします。

当社グループは、投資規律ならびに資本効率を重視しつつ、確かな技術力を有するニッチトップ企業のM&Aを推進し、「日本のものづくりを100年先まで守り育てる企業グループ」を目指してまいります。

以上



三井松島

中期経営計画2030

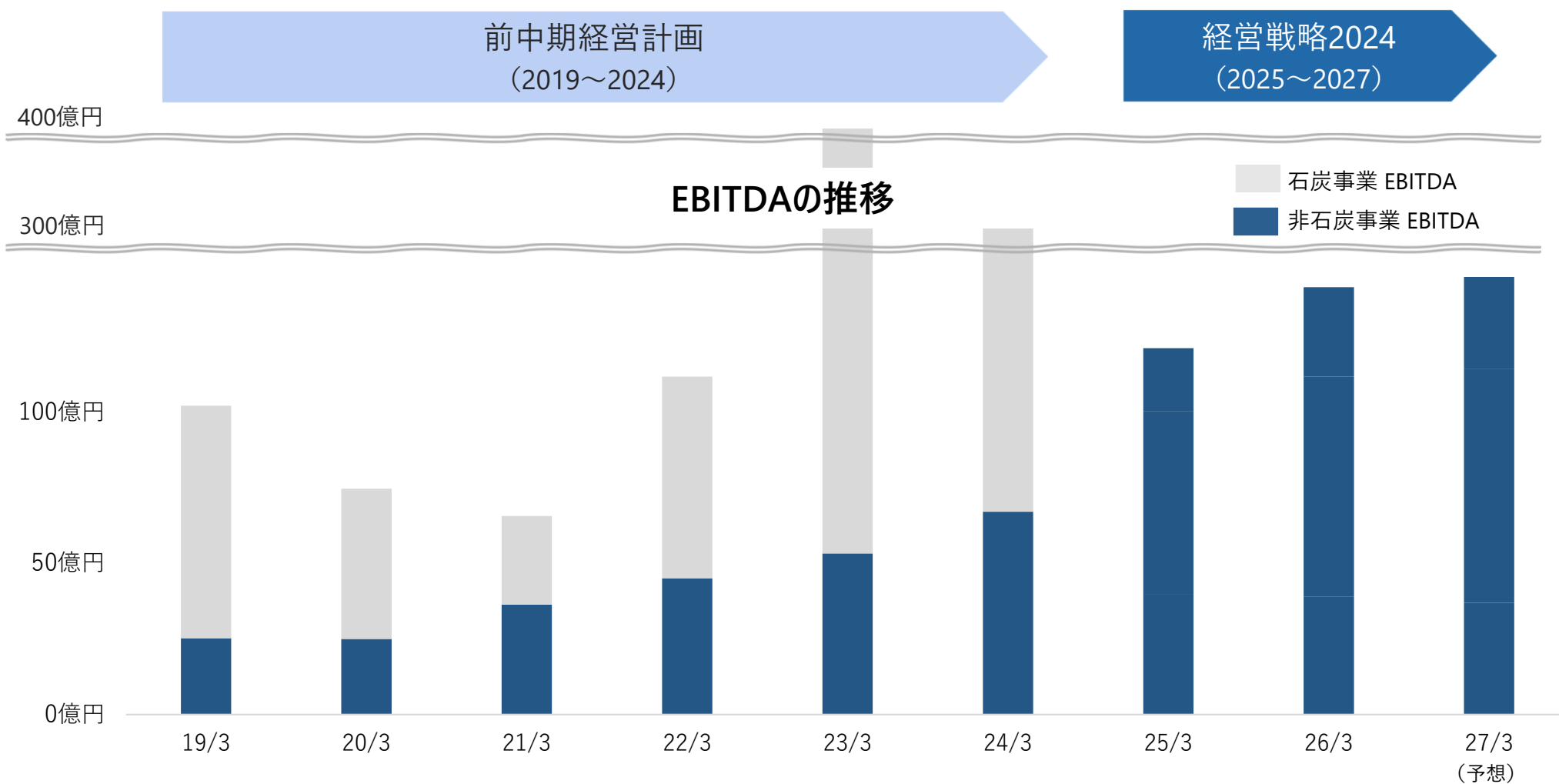
～日本のものづくりを守り育てる企業グループへ～

三井松島ホールディングス株式会社

「経営戦略2024」の振り返り

M & Aによる事業ポートフォリオ変革

- 前中期経営計画期間において、**製造業を中心としたニッチトップ企業への積極的なM&A投資**により、石炭事業（2024年3月期終了）に代わる**安定的な事業ポートフォリオを構築**
- 2025年3月期からは「経営戦略2024」を掲げ、M & A投資やグループ各社における収益増加等によって収益基盤を更に拡充



※EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

「経営戦略2024」の早期達成

- M & A投資及び資本政策の着実な実行により、2024年5月に公表した「経営戦略2024」は1年前倒しで**早期達成**

経営戦略2024

- PBR = 1倍以上、ROE8%以上を意識し、今後3年間の経営戦略を以下とする。

1

2027年3月期までに当期純利益50億円以上を継続的に計上できる収益構造をM&Aにより構築する

⇒2025年3月期、2026年3月期ともに当期純利益50億円超を達成

2

2024年3月期末のネット現預金（216億円）は、今後3年間でM&A投資もしくは株主還元（自己株式取得・配当）に積極的に充当し、一株当たりの株式価値の最大化を図る

⇒2026年3月までにM & A投資140億円、株主還元247億円を実施

新たな成長ステージへ

中期経営計画2030

中期経営計画2030（概要）

キラリと光る確かな技術力をもつニッチトップ企業のM & Aを推進し、
日本のものづくりを100年先まで守り育てるプロ企業の集合体を目指す

新中計
(2026～2030)

日本のものづくりを
100年先まで守り育てる
企業グループへ

M & A投資及び積極的な株主還元により、
当期純利益50億円超の収益基盤を構築
するとともに、PBR 1 倍以上を達成

経営戦略2024
(2024～2025)

祖業の石炭生産事業からの撤退の中で
10社のM&Aにより事業ポートフォリオを変革

前中計
(2018～2023)

中期経営計画2030（財務目標/成長戦略）

財務目標

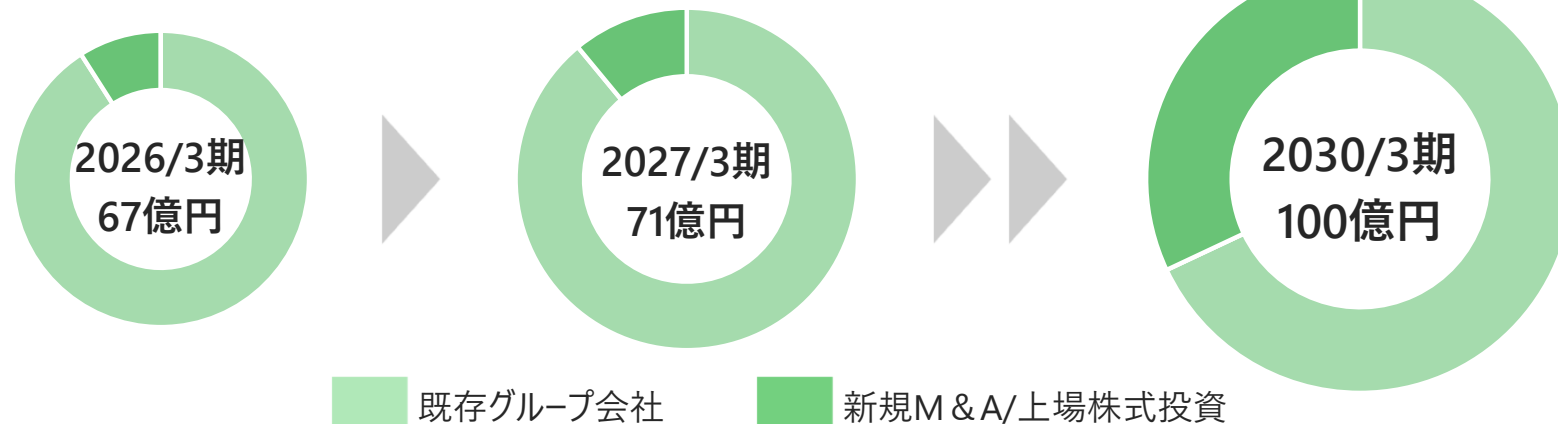
連結当期純利益 **100億円以上**（2030年3月期）

成長戦略

- ① 「ニッチ・安定・わかりやすい」の投資方針を軸としたM & Aによる連続的な成長
 - 資産効率、PMI効率を意識し、グループ全体の成長を牽引
- ② 上場株式投資による収益源の多角化
 - 割安な株式への長期純投資による安定的な利益貢献（TOPIX以上のパフォーマンスを目指す）
※2024年8月設立以来の含み益込みIRR(税引前)は48%
- ③ グループ会社による着実な収益拡大
 - 経営改善等による有機的成長とM & Aによるロールアップ成長の両輪により、既存事業の持続的成長を実現

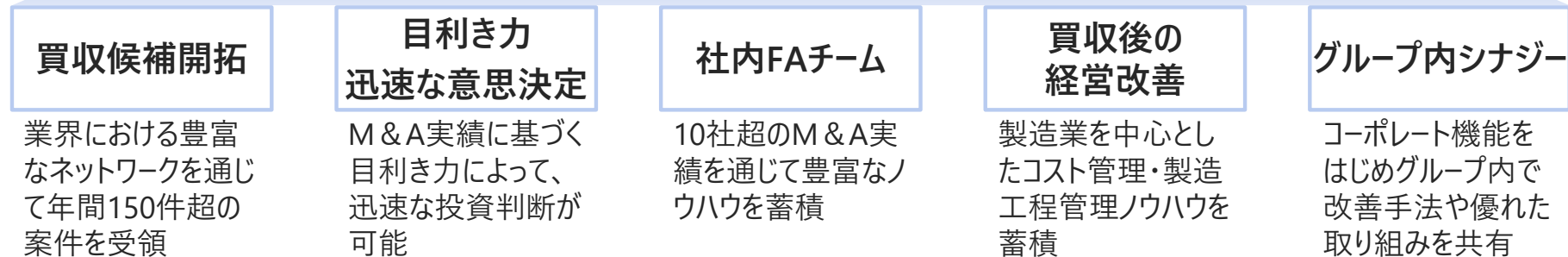
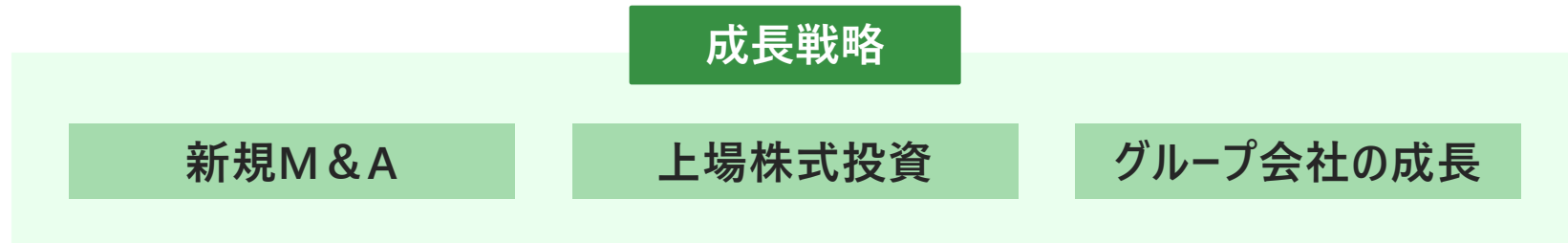
※上記①～③の成長戦略に総額400億円程度の投資を想定

[当期純利益成長イメージ]



成長戦略を実現する社内のM & Aプロフェッショナルチーム

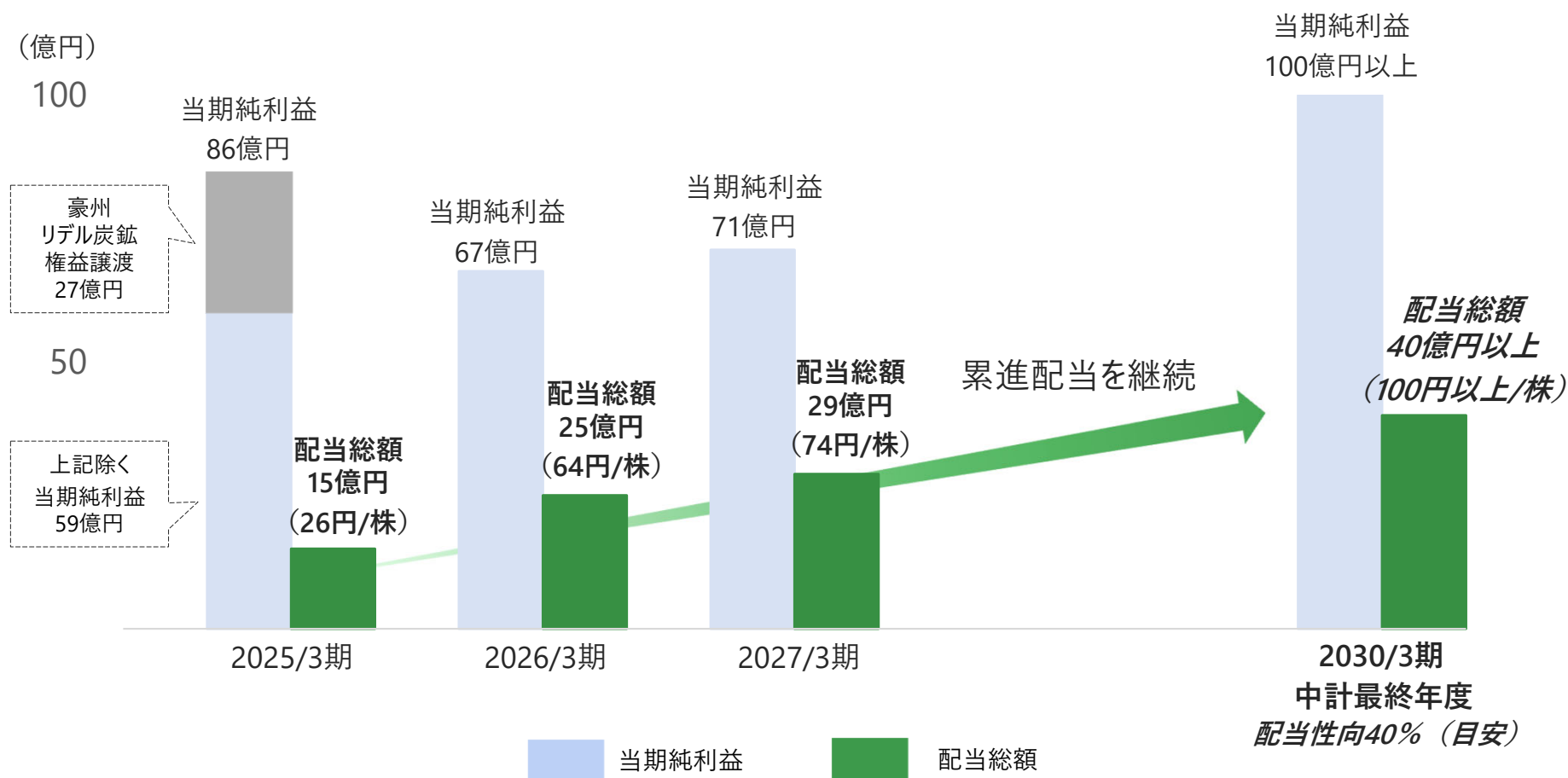
- M&Aの経験が豊富な経営陣の指揮のもと、多様なバックグラウンドを持つ事業会社出身者によるFA（ファイナンシャル・アドバイザー）チームを内部に構築
- 10社超のM & A実績の積み重ねにより、各種ノウハウやネットワークを獲得（事業承継・ファンドEXIT・事業会社カーブアウトなど、様々なM & Aに対応）



中期経営計画2030（株主還元）

株主還元方針

「**累進配当**」を基本方針とし、M&A等による利益成長を通じて、**1株当たり年間配当額の持続的な向上**を目指す



※ 1株当たり配当は2026年3月期末の配当対象株式数を基に算出